

講演の概要

「水まわり設備の進化」

講演内容：

【水まわりの進化】

まだ、水洗トイレのない時代に「健康で文化的な生活を提案したい」という思いから、1914年に国産初の腰掛式水洗便器の製造に成功しました。その後、便器という単機能から温水洗浄便座など多機能化へと進化していきました。1964年に東京オリンピックに向けた大型ホテルの建築ラッシュの工期短縮のために浴室のセミキュービック工法を開発し現在のユニットバスルームへと広がりました。ユニットバスルームの床の進化についてお話します。

【水まわり設備えらびのおすすめポイント】

水まわり設備は10～15年経過したころが器具交換やリフォームの実施時期です。水まわり設備をえらぶ際のポイントについてご紹介します。



講師：

TOTO 株式会社 浴室事業部 浴室商品統括部 シーズ開発 G 松原 悠子

講師プロフィール：

2004年上智大学大学院理工学研究科 機械工学専攻卒業後、東洋陶器株式会社（現：TOTO 株式会社）に入社、レストルーム事業部・トイレ空間開発部に配属され、レストルーム商品の商品開発・商品企画に従事。2010



年にマーケティング本部・商品企画推進部に異動し、マーケティング革新及び全社視点でのレストルーム商品企画に従事後、2014年より浴室事業部・浴室開発部にてユニットバスルームの商品開発に従事。現在は茅ヶ崎工場の総合研究所と協業し将来の新しい浴室の価値創出に挑戦中。